

## 【巡回指導〈1〉】 広野町立 広野中学校

日程 : 2018年 9月15日(土)  
参加者 : 広野中学校(10名) / 佐藤先生  
指導者 : 小野章三(元堺ブレイザーズ)  
同行者 : 事務局 / 藤野美緒、小色尚子



1回目の指導の小野コーチは保護者が手作りでくださったウェルカムボードに大感激です！最初に小野コーチから友情ネットプロジェクトの説明をさせていただきました。みなさんに伝えたいことや、バレーボールがどのような競技であるかをクイズ方式にして生徒のみなさんも参加しながら楽しく伝えさせていただきました。日常の当たり前は当たり前では無いこと、感謝することを忘れず、人を思いやる心を大切に、バレーボールを通じて生徒も保護者も、みんなで一緒に響き合っていきましょう！と小野コーチから言葉がありました。保護者の方も沢山参加して一緒に聞いて下さり、笑顔と温かい空気に包まれたスタートとなりました。



体育館に移動して、最初に一人一人自己紹介と今、どんな気持ちかを話してもらいました。ビビってます！楽しみです！ドキドキです！と自分の気持ちを素直に話してくれました。指導の前に保護者のみなさんにいつもの感謝と1年間お願いしますと挨拶しましょう！と小野コーチから言葉がありました。日頃、言えない事をきちんと言葉にして伝えることの大切さを伝えました。



チームが輪になって一緒に立ち上がるゲームをしました。心を一つにするにはどうしたらいいのか考えること、自分が良ければ良いのではなく、「みんなで」やることの大切さを伝えました。また、オーバー、アンダー、サーブは、基本姿勢やボールの捉え方を指導しました。サーブは、24・23で負けている試合を設定し、緊張の中、笛が鳴ってから8秒間の間でいかにリラックスした状態で自分の狙ったところに打てるか、自分の心と向き合ってもらいました。決まる度にチームメイトを讃える拍手が起きました。



スパイクの指導では、腕を引くことで強く振り切れ、声を出すことで力が出ると伝えました。最後は1日の感想を聞きました。小野コーチが面白くて楽しく練習ができました！スパイクではストレス発散になりました！など明るい表情で話してくれました。友情ネットのマークの「友」を保護者がアップリケしてくれたハンカチを持ち、笑顔いっぱい1回目の指導を終えました。